

4. 補足情報

(1) 主な製品の売上高と予想

(単位：億円)

製品名	累 計 実 績				前年同期比		通期目標	
	4～6月	7～9月	10～12月		増減額	増減率	金額	増減率
グラクティブ錠 ※	96	87	105	288	+20	+7.5%	375	+7.9%
オパルモン錠 ※	86	81	88	256	△12	△4.6%	325	△4.2%
オノンカプセル ※	34	27	36	97	△16	△13.9%	135	△16.4%
リカルボン錠	26	25	30	81	+25	+43.6%	105	+37.2%
イメンド/プロイメンド	22	21	25	67	+5	+8.4%	95	+19.9%
フオイパン錠	22	20	22	63	△6	△8.9%	80	△8.8%
キネダック錠	20	18	19	58	△12	△17.8%	80	△7.8%
オノンドライシロップ	17	13	22	52	△2	△4.5%	70	△4.5%
ステーブラ錠	16	14	17	48	△2	△3.9%	70	+8.6%
リバスタッチパッチ	14	15	18	47	+19	+64.5%	65	+66.6%
注射用オノアクト	10	9	15	34	+5	+15.2%	45	+21.9%
注射用エラスポール	9	8	11	28	△3	△9.9%	35	△9.8%
オレンシア皮下注	—	1	3	4	(平成25年8月発売)		12	—

(注) 仕切価格(出荷価格)ベースでの売上高を開示しております。

※今回売上高予想を修正した製品

- ・前回発表予想より、グラクティブ錠を25億円減の375億円、オパルモン錠を15億円増の325億円、オノンカプセルを10億円増の135億円とします。

なお、製品売上高の予想修正による、連結決算業績見込みの変更はありません。

(2) 海外売上高

(単位：億円)

	前第3四半期	当第3四半期
海外売上高合計	20	17
(対売上高比率)	1.8%	1.5%

主要輸出先

韓国、台湾、ドイツ、イタリア、オランダなど

主要輸出品目

オパルモン、プロスタンディン、フオイパン、プレグランディン、オノン、エフオーワイなど

(3) 四半期連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	前第3四半期	当第3四半期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	56	112	+56
うち減価償却費	21	20	△0
投資活動によるキャッシュフロー	153	128	△25
財務活動によるキャッシュフロー	△183	△187	△4
キャッシュの増減額	25	53	+28
四半期末のキャッシュの残高	876	945	—

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額の減少などにより収入が増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券への投資増加などにより収入が減少しました。